

## 主張

新しい年を迎えた。世界はその指導者によって大きく変わろうとしている。

米国は大方の予想を覆されて共和党ドナルド・トランプ氏が

民主党のヒラリー・クリントン氏を破って大統領となった。

これでこれまでオバマ氏が進めてきたTPP、オバマケア(医療保険制度改革)、パリ協定などが廃止や離脱が起こる。

英国は欧州連合(EU)を国民投票によって離脱し反移民、反グローバル化を引き起こしたが、

これに同調した波である。韓国では朴槿恵大統領が辞任に追い込まれた。次は誰が政権をとるのであろうか。

日本にとって最重要課題はトランプ氏がどんな

10月15日、保団連も賛同する「TPPを批准させない！1万人行動」が都内をパレードしTPP批准反対運動を繰り返してきたが、これが国会で強行採決された。だ

国連平和維持活動(PKO)へ陸上自衛隊を

定」について安倍政権はオプザーパーとして参加するとしているが、トランプ氏はしないと明言している。

核兵器禁止条約制定に向けた交渉のための決議を123か国の賛成多

# トランププシヨツクに どう耐えるか

政策をとるのか。日本は戦後、米国を通じて世界を見ていればよかった。

その時代は終わり日本は主体性を回復して、世界観を立て直さねばならない。

が、米国は批准しないとトランプ氏は明言しているから、米国抜きでTPPは成立するとは考えにくい。

「駆け付け警護」や「宿営地共同防護」などの新任務が付与されて派遣された。

数で採択されたが、日本は米国に遠慮して反対に回って、批判を浴びている。トランプ氏は日本に核装備させる暴言も出ており、アジアを押しやる在日米軍4万人も減らしていくと考えられる。日本は米国の核の傘から外れるかもしれない。

われらの当面の医療運動対策は政府の出す種々の患者負担増計画を押しとどめ、医療難民の出ないよう誰でも低負担で医療が受けられる制度を維持できるよう運動する必要がある。署名運動などを通して、国会にわれわれの声を届けよう。